

島根原発の低レベル放射性廃棄物の モルタル充填に用いる流量計問題について

島根県防災部原子力安全対策課

1. 最近の主な経過

- (1) H29. 4. 1 中国電力、改良 EAM（統合型保安システム）運用開始
- (2) H29. 5. 29 原子力規制庁、平成 29 年度（第 1 回）保安検査
～ 6. 9 再発防止を図るためのシステムの構築完了を確認
今後、継続的に P D C A サイクルを廻していることを保安検査等で確認
- (3) H29. 8. 17 県と松江市が立入調査（第 7 回）を実施

2. 県の対応

(1) 立入調査（第 7 回）の概要

- 1) 現場の設備、関係書類（点検記録等）により以下を確認
 - ① 再発防止対策の進捗状況及び改訂手順書等に基づく運用状況
 - ② 流量計の未校正期間に製作された充填固化体の管理状況及び処理検討の進捗状況
 - ③ 保安検査等での規制庁からの指導・指摘事項
- 2) 調査結果
 - ① 再発防止対策は計画どおり進捗し、改訂手順書等に基づく運用にも問題は見られないことを確認
 - ② 流量計の未校正期間に製作された充填固化体は、適切に保管されていること、また、搬出先（日本原燃株）との搬出に向けた協議が継続していることを確認
 - ③ 再発防止対策以外の保安活動に対する規制庁の指摘等についても調査し、保安活動改善に向けた検討が進められていることを確認

(2) 今後の対応

- 1) 中国電力が行う再発防止対策の進捗状況、規制委による保安検査等の状況、県要請事項への対応状況を引き続き確認し、聴き取りや立入調査等の対応を行う
- 2) 中国電力へ要請している、流量計未校正期間に製作されたモルタル充填固化体の適切な処理（埋設に係る技術基準への適合性）・管理について、中国電力の対応状況を継続して確認